

# Data Gate Inc.

株式会社 データ ゲート

〒530-0043  
大阪市北区天満 2-12-13 ノイエビル  
TEL.06-6356-6055

<http://data-gate.com/yarland/>

# YARLAND JAPAN

VACUUM TUBE AMPLIFIER

Operating  
Instruction

製品をご使用になる前に、必ずこのマニュアルをお読みください。また、なくさないように大切に保管ください。

## ご使用の前に

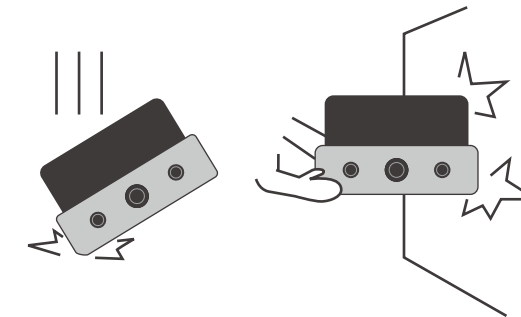
商品開封後は商品および付属品に破損や欠品がないかをご確認ください。

- ・欠品や破損などがある際は、すみやかに販売店または製造元にご連絡ください。
- ・修理などの移動用に、梱包箱や梱包材は保管しておくことをおすすめします。

<b>製品内容</b>	アンプ本体／真空管(300B×2、Ecc99x2、Ecc803x2)／ マニュアル(本誌)／電源コード／手袋／保証書
-------------	---------------------------------------------------------------

設置の際は、2人で持ち上げてください。

- ・移動や設置は必ず大人2人以上で行ってください。
- ・製品の落下や衝突などによる、本体の破損またはお客様の所有物やその他一切の損傷については弊社では責任を負えませんのでご注意ください。
- ・また、落下などによりケガ等を負われた場合でも一切の責任は負えませんので、十分にご注意ください。



設置の際は必ず電源コードを抜いてください。

このたびは本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

このマニュアルをよくご覧になった上で、本製品を長くご愛用ください。

## 安全上のご注意



### 警告

本製品は、国際電子機器安全規格(EN60065)と  
EMC規格(electromagnetic compatibility)のEN 55013に準拠しています。

- 水につけたり、水をかけたりしない。  
(感電や火災の原因)  
・水がかかった場合は、直ちに電源プラグを抜いてください。
- スピーカーを接続しないで  
アンプの電源を入れない。
- カバーを外さない。  
(感電の原因)
- 分解や修理をしない。  
(けがや故障の原因)
- 本体底面のカバーは外さない。  
・本体内部の高電圧部分に触れると感電や故障の原因となります。本体内部の付属品または一部を改造しないでください。電源プラグを抜いても、電源ランプが消えるまでお待ちください。

以下の場所で使用しない。(故障や誤動作の原因)  
直射日光の当たる場所、ホコリや塵が多い場所、湿度の高い場所、台所、熱源機の近くなど。

- 安全で換気性の高い場所でご使用ください。
- 子供やペットがいる近くで使用しない。
- 熱を逃がすための通気口をふさがない。  
(火災や誤動作の原因)  
・次のガイドラインに従ってください。  
設置する場合は、壁から1cm以上離す。  
(温度が上がり、故障の原因)  
換気が十分にできない場所で設置・使用しない。  
(温度が上がり、故障の原因)  
連続して6時間以上使用しない。ご使用前には時間を空けてください。(温度が上がり、故障の原因)
- 本機に液体がかからないようにしてください。  
・本機に水が入ると、感電や火災、誤作動の原因となります。  
・本機に水が入った場合は、直ちに電源プラグを抜いてください。
- 本機の上に水の入った容器を置かない。
- 本機の近くに磁石を近づけない。  
(誤動作や故障の原因)

## ■電源コードの取扱について

- 傷ついた電源コードを使用しない。  
(感電や火災の原因)  
・3ピンアースタイプのACプラグを使用の場合、必ずアースを接地する。
- 電源コードを抜くときはコードを引っ張らない。  
(コードが断線し、ショートなどによる感電や火災の原因)
- 電源プラグやコードの上に家具や敷物、重たい物を置かない。  
(ショートなどによる感電や火災の原因)
- ヒーターなど暖房器具をご使用になる場合は、本製品の電源コードから十分に離して設置する。  
(コードのカバーが溶け、感電や火災の原因)  
・電源プラグがお住まいのコンセントに適さない場合、ヒューズが飛ぶ可能性があります。  
13Aソケットの場合、感電の恐れがあります。
- 本製品に異物を入れない。  
(火災や故障の原因)
- 通気口から金属製の物を入れたり、燃えやすい物を入れたりしない。  
(感電や火災、損傷の原因)
- トランスのカバーや真空管には触れたり、引火性の高い物を近づけない。  
ご使用中は変圧器のカバーが60°Cを超え、真空管も非常に高温になります。  
(やけどや火災の原因)
- 長期間ご使用にならない場合は、電源スイッチを切った上で電源プラグを抜いてください。  
(やけどや火災の原因)

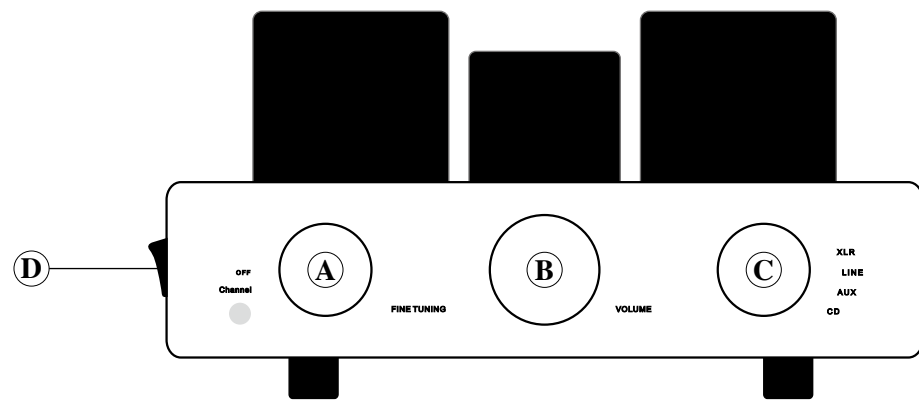
商品の保証については付属の「保証書」をご覧ください。

- ・ご購入後2年以内に、正常なご使用状態で製品が故障したときは、本保証書の記載に基づき、無償で修理いたします。
- ・保証期間を過ぎた商品は有償にて修理対応いたします。(製品により修理できない場合がございます)

また、ご自身でメンテナンスされる場合は以下の事に十分ご注意ください。

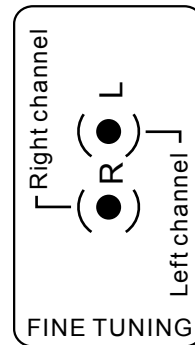
- 電源を切り、10Ω/10Wの抵抗を利用し、電源コンデンサの両端を接続し、放電する。

## 前面パネル

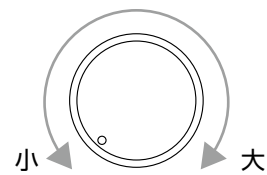


### Ⓐ 出力レベル (フィードバック) 調整

- CHANNEL: 左側面の調整穴から「R」「L」の各チャンネルのボリュームレベルを調整できます。
- OFF: 標準のままです。通常はこちらで問題ありません。

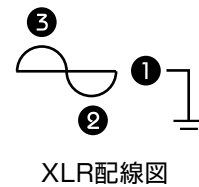
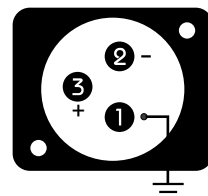


### Ⓑ ボリューム調整



時計回り: 音量 (大)  
逆時計回り: 音量 (小)

### Ⓒ 入力選択 (XLR/LINE/AUX/CD)

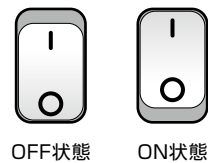


XLR配線図

### Ⓓ 電源スイッチ

電源スイッチは左側面奥にあります。

**左右完全独立回路になっているため、左右で電源スイッチが2つあります。左右の電源はひとつずつ間をあけて入れてください。(故障の原因)**



ご注意:

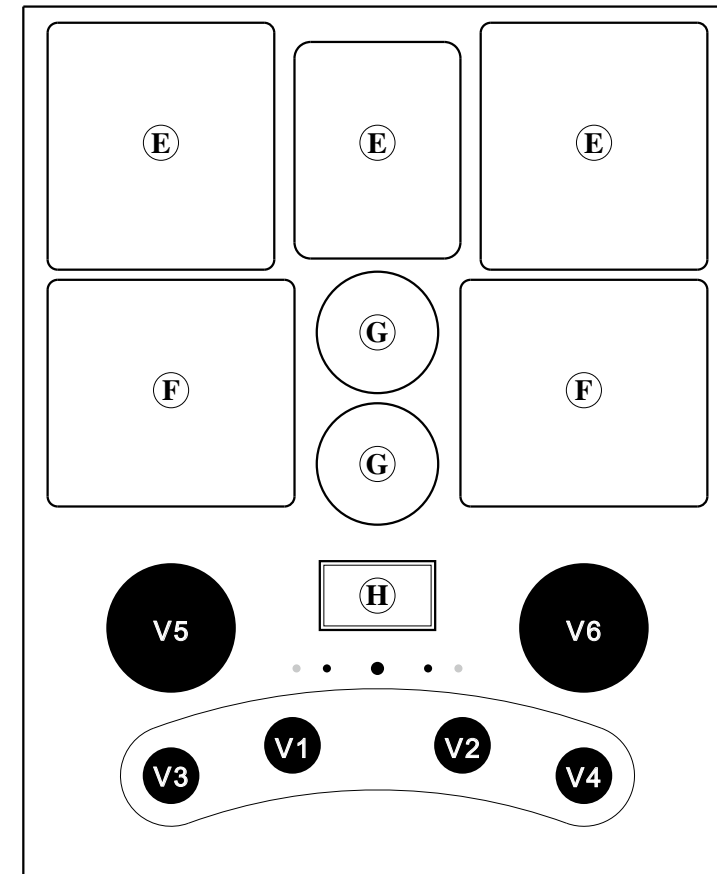
※スピーカーを接続しないで、電源を入れないでください。

※電源を入れる前に音量を最低まで下げ、電源を入れた後にお好みの音量に調節してください。

本機にリモコン機能はありません。

TJ300-S

## 本体構成



### Ⓔ 電源トランス

**ご注意:** ご使用中は表面温度が60℃以上になります。引火性の高い物は近づけないでください。

### Ⓕ 出力トランス

### Ⓖ チョークコイル

### Ⓗ 液晶画面 (バイアス値表示)



本製品は自動バイアスですので、バイアスを調整する必要はありません。

液晶画面下のスイッチを右に倒すと右の真空管、左に倒すと左の真空管のバイアス値が表示されます。

(中央にすると液晶画面がOFFになります)

●液晶に表示されるバイアス値が下記の範囲値を越える場合は電源を切り、真空管を交換してください。

●左右の真空管のバイアス値に開きがある場合も電源を切り、マッチングされた真空管に交換してください。

TJ300-Sのバイアス範囲

60~70V

左右真空管のマッチング範囲

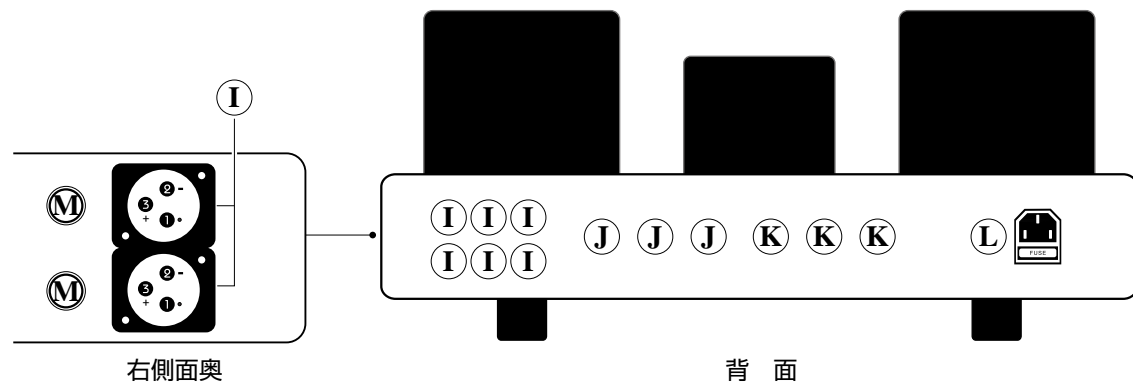
3.5V 以内

※バイアス調整穴 (ADJUST BIAS) は使用しません。

※左右のマッチングがとれていないと、故障の原因になります。

TJ300-S

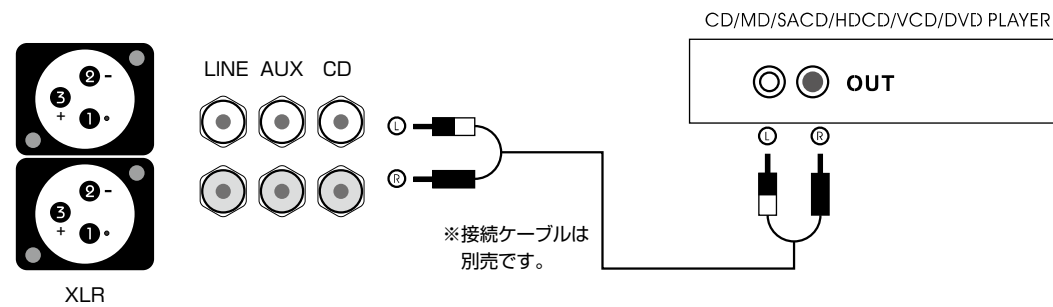
## 背面パネル



### ① CD/AUX/LINE/XLR 入力端子

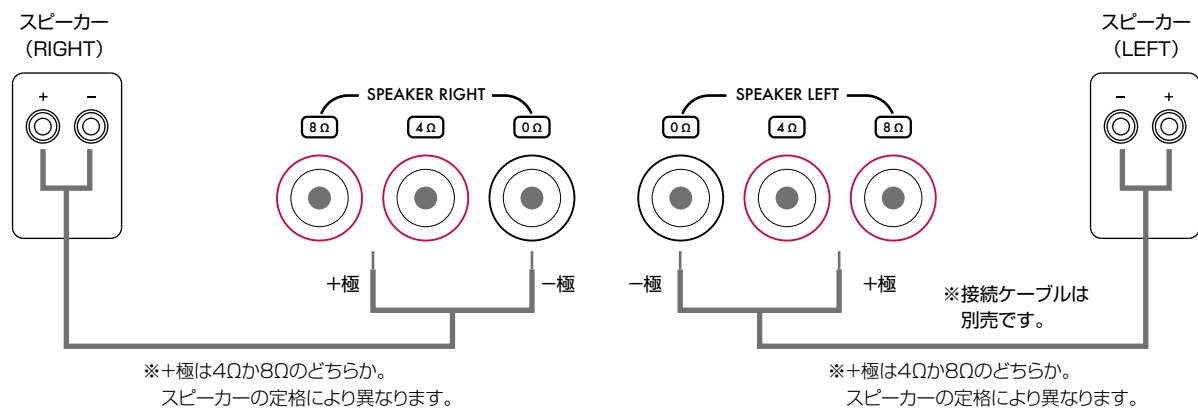
様々な機器への接続が可能です。

「R」と「L」を間違えないように、よく確認してから接続してください。  
レコードプレーヤーのようなアナログ信号用の接続はできません。



### ② スピーカー用端子「R(右)」

### ③ スピーカー用端子「L(左)」



## ■スピーカーケーブルの接続

スピーカーの左右(LR)と、アンプ背面端子の左右(LR)を間違えずに接続してください。

スピーカーのインピーダンスが

**4Ωの場合** 一極を「0Ω」に、+極を「4Ω」の端子に接続してください。

**8Ωの場合** 一極を「0Ω」に、+極を「8Ω」の端子に接続してください。

### ご注意:

※ケーブルを端子につなぐ際、スパナやペンチなどを使用しないでください。

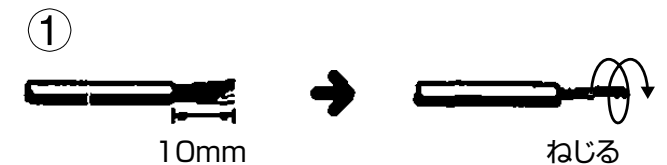
端子を破損させる原因となり、そのような場合は保証の対象外となります。

※ケーブルの接続を間違えると、ショートなど本製品の故障の原因となります。

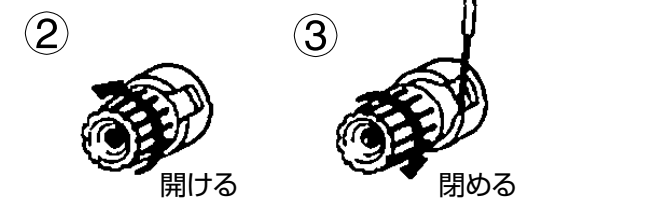
※必ず正極(+)コードは正極(+)端子に、負極(-)コードは負極(-)端子に接続してください。

## コードの接続方法

①コード端の外装を剥がし、  
導線の中心部をねじる



②端子ノブを左に回す

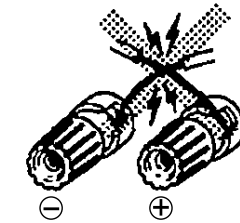


③導線を挿入し、端子ノブを右に回す。  
コードを引っ張り、確実に接続されて  
いることをご確認ください。

### ご注意:

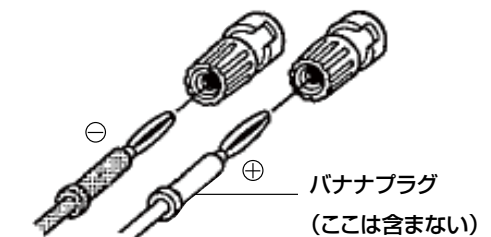
回路損傷の原因となりますので、

+極と一極のコードを接触させないでください。



バナナプラグを使用する場合

スピーカー端子ノブで確実に  
固定してください。



① 電源ソケット／ヒューズボックス

付属の電源ケーブルを差し、もう片方をコンセントに差ししてください。

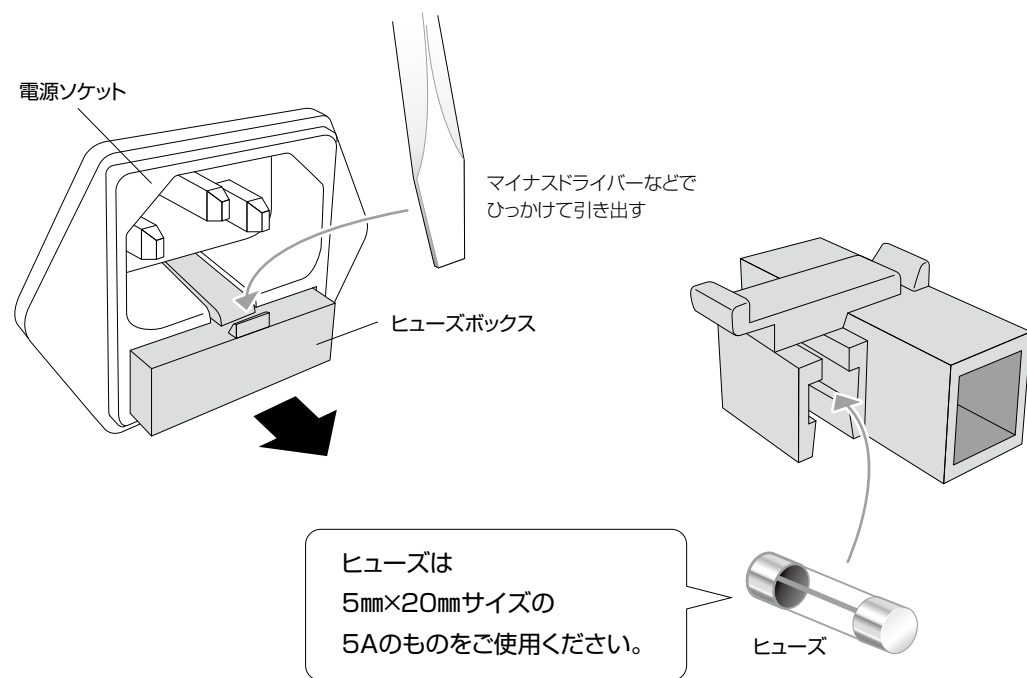
ご注意：コンセント側にはアースを接続してください。

■ヒューズの交換方法

ヒューズが飛んでしまった場合は、電源ソケット下のヒューズボックスにヒューズを取付けてください。

※ヒューズは本体内部にありますので、ご自身で交換することができません。

ヒューズボックスに新たに取付けてください。



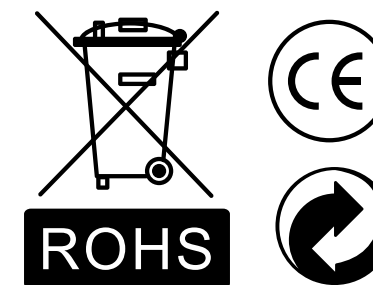
② LINE出力端子

増幅されていない信号を出力します。  
サブウーファーや他のオーディオ機器と接続してください。

製品仕様

パワー管	300B(2本ペア)
プリ管	Ecc803(2本)、Ecc99(2本)
working State	クラスA / シングルエンド
バイアス設定	セルフバイアス
負荷インピーダンス	4/8ohms - 20HZ - 20KHZ (+/- 1dB)
最大出力	8w+8w
出力インピーダンス	4ohm And 8ohm
出力周波数帯	20Hz - 20KHz (-1dB)
SN比	89db
入力インピーダンス	100kΩ
入力端子	CD / AUX / LINE / XLR
出力端子	Line-output
消費電力	115W
本体サイズ (W × D × H)	350 × 430 × 210(mm)
重量	28kg

※本体内部にサービスパーツはありません。販売店または製造元までご相談ください。



## よくあるご質問

**Q** 電源が入らない（真空管や液晶画面が光らない）

**A** 電源コンセントがしっかり差まっているかをご確認ください。  
また、ヒューズが飛んだ可能性があります。

新しいヒューズを取付けてみてください。 →ヒューズの取付け方は8ページ

**Q** 真空管を交換したい

**A** 真空管の交換は以下の手順で行ってください。

※弊社取り扱い以外の真空管をご使用時に、それが原因で発生した故障については保証の対象外です。

① アンプの電源を切る

② 真空管を差替える

※使用していた真空管は高温ですので、取り外しは十分に注意してください。  
※しっかりと奥まで差してください。

③ アンプの電源を入れる

電源は左右同時に入れずに、片方ずつ入れるようにしてください。  
電源を入れてから約1分くらい待ってから次の手順を行ってください。

④ 電圧を確認する

オートバイアスですので、調整は不要です。

バイアス値が基準値を超えていないか、ペアリングができていないかをご確認ください。 →バイアス値は5ページ

※雑音を感じられる場合はHUMの調整を行ってください。

HUMの調整穴は左右にあります。

スピーカーに耳を近づけ“うーん”音がなくなるように

マイナスドライバーなどで調整してください。



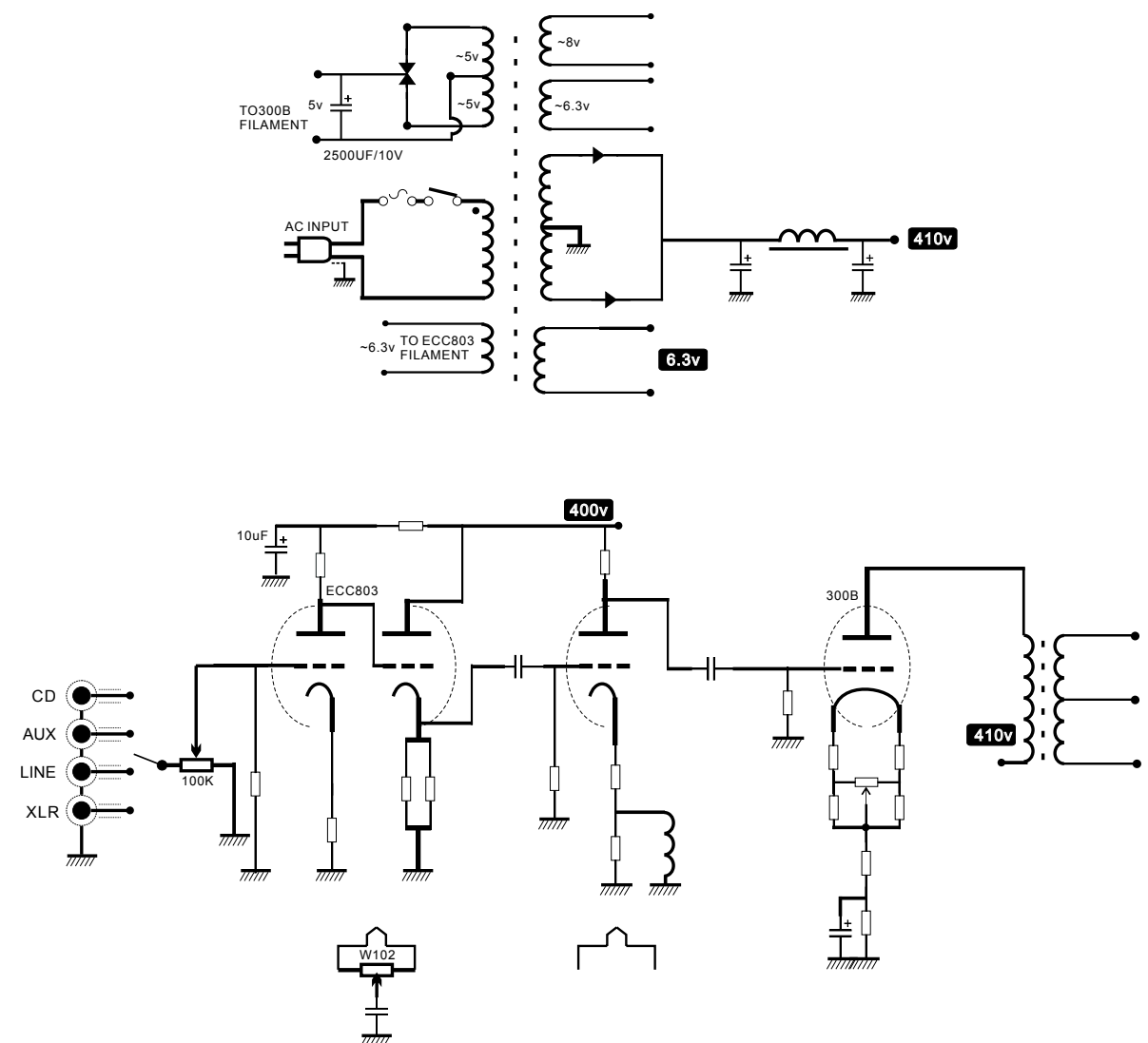
ADJUST HUM

**Q** リモコンは付属していますか

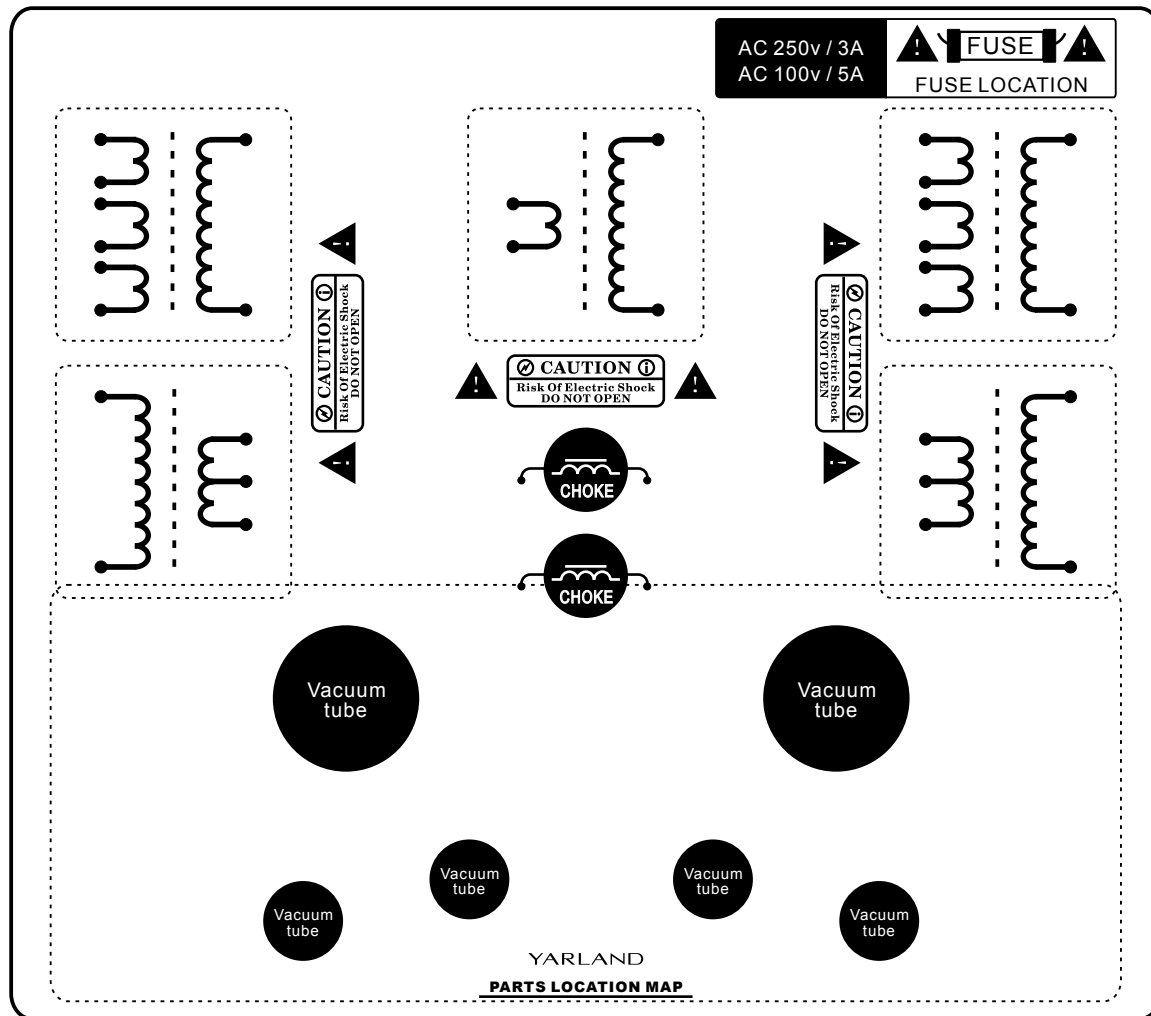
**A** 本製品はリモコン機能がありません。

受光部がありますが、音質向上のためモーターなどリモコン機能部を取っています。

## 回路図



構造図



トランス配線図

